

## 令和3年度 文教委員会資料①

【所管事務の調査（報告）】

新たな認証制度「（仮称）かわさきスポーツアンバサダー」について

資料 新たな認証制度「（仮称）かわさきスポーツアンバサダー」について

市 民 文 化 局

（令和3年7月29日）

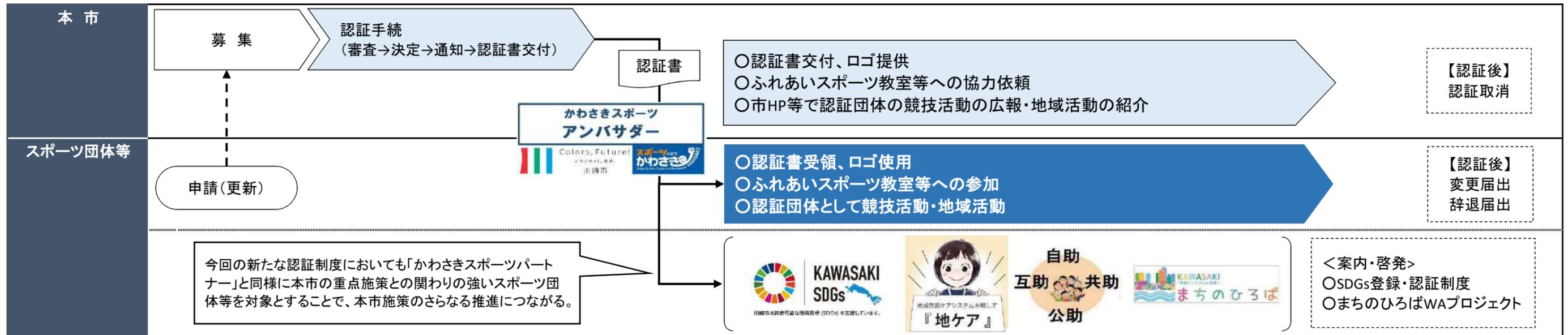
1 現状・課題

- (1) 本市では、平成16年に市制80周年を記念して、スポーツの振興及び本市のイメージアップを図ることを目的として、「川崎市ホームタウンスポーツ推進パートナー」制度を制定した。その後、平成25年4月により親しみを持てるように名称を「かわさきスポーツパートナー」及び「かわさきトップアスリート」に変更し、現在に至っている。
- (2) 具体的には、本市をホームタウンとして活躍するトップチームを「かわさきスポーツパートナー」として認定し、本市を前面に打ち出した競技活動を通じた魅力発信とともに、ふれあいスポーツ教室及び市民招待等で協力いただいている。(6チーム) また、スポーツ分野で著しい功績を築いた者を「かわさきトップアスリート」として顕彰し、自らの活動を通じて、魅力発信に貢献いただいている。(1名)
- (3) 一方、市内には、上記(2)「かわさきスポーツパートナー」「かわさきトップアスリート」の要件を満たしていないが、本市を拠点に競技活動を実践し、国際・国内大会等で良好な成績・記録を残しているスポーツ選手やスポーツ選手の所属団体(以下「スポーツ団体等」という。)が存在しており、その中には、意欲的に地域活動に取り組んでいるスポーツ団体等も存在している。

→ 上記(3)のスポーツ団体等の取組を本市が認証(称賛・評価)することにより、これまで以上に意欲的かつ継続的に地域活動等に貢献していただくことが期待できることから、**新たな認証制度を創設するもの。**

2 制度概要

本市を拠点に競技活動を実践し、国際・国内大会等で良好な成績・記録を達成するとともに、地域活動を意欲的に実施しているスポーツ団体等を「(仮称)かわさきスポーツアンバサダー」として認証する。

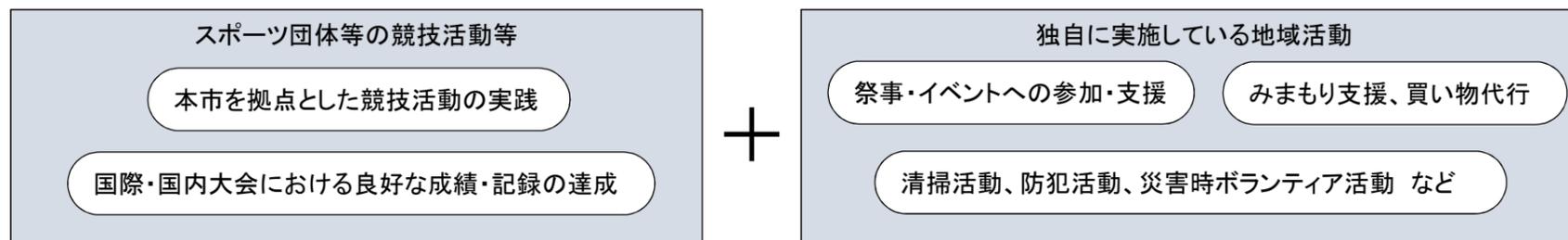


3 応募対象

本市を拠点に競技活動を実践し、国際・国内大会等で良好な成績・記録を達成するとともに、地域活動を意欲的に実施しているスポーツ団体等

4 認証要件

スポーツ団体等の競技活動等に加え、独自に実施している地域活動を評価項目とし、取組実施等の有無を点数化し、基準点以上であること。



5 募集期間および認証期間

- ・募集期間 2か月程度(毎年度1回募集)
- ・認証期間 3年間

6 審査方法

申請内容をもとに本市内部委員による書類審査を経た上で決定する。

「かわさきスポーツパートナー」の対象要件等(参考)	
要綱抜粋	
ア	本拠地要件 川崎市にホームタウンを置くチームであること
イ	卓越要件 プロスポーツのチームまたは日本における当該競技種目のトップリーグに所属するなど優秀な成績を収めており、任期中継続した活躍が期待できるチーム、また、その知名度等を勘案し、川崎の魅力として発信できること
ウ	協力要件 本制度を理解し、その意義に賛同した上で、下記の役割を果たすことができるチームであること ・パートナーは、「川崎市」を前面に打ち出し競技活動を行うとともに、ふれあいスポーツ教室の開催、ホームゲーム等への市民招待などの機会提供を通じて、競技の普及やスポーツ推進に貢献する。 ・市及びパートナー相互の連携・協働によりホームタウンスポーツの活性化に貢献する。
かわさきスポーツパートナー・トップアスリート	
<かわさきスポーツパートナー> 川崎フロンターレ(サッカー)、川崎ブレイドサンダース(男子バスケットボール)、東芝ブレイドアレイス(野球)、富士通レッドウェーブ(女子バスケットボール)、NECレッドロケッツ(女子バレーボール*)、富士通フロンティアーズ(アメリカンフットボール#) <かわさきトップアスリート(敬称略)> 中田大輔(トランポリン)	
【備考】 無印：H16.9認定、*：H17.7認定、#：H18.7認定	